



# 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 双葉電子工業株式会社

コード番号 6986 URL <http://www.futaba.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 桜田 弘

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画本部長

(氏名) 中村 正行

TEL 0475-26-0160

四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	52,217	0.3	1,009	△38.4	1,342	△68.5	164	△94.2
27年3月期第3四半期	52,039	9.8	1,638	△10.7	4,266	18.2	2,832	15.1

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 △2,086百万円 (—%) 27年3月期第3四半期 12,610百万円 (21.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	3.78	—
27年3月期第3四半期	63.77	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	157,828	142,256	83.8
27年3月期	162,907	147,307	84.1

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 132,215百万円 27年3月期 136,930百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
28年3月期	—	14.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,400	1.8	1,700	△10.6	2,400	△44.6	700	23.4	16.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、[添付資料]4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	45,886,739 株	27年3月期	45,886,739 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	2,465,474 株	27年3月期	1,753,535 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	43,545,233 株	27年3月期3Q	44,423,130 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて算出しており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、当社製品の需給の急速な変動、米ドルを中心とした対円為替相場の変動および日本の証券・株式相場の変動など様々な要因により異なる場合があり得ることをご承知おきください。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国は個人消費を中心に景気回復が続いており、欧州でも緩やかな回復基調となっておりますが、中国をはじめとした新興国経済の減速感が強まり、また欧州や中東地域における地政学的リスクの高まりもあり、先行き不透明な状況となっております。

一方、国内経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあり、緩やかな回復が継続しております。

このような状況のなか、当社グループは、電子部品事業の有機ELディスプレイ、タッチパネルや生産器材事業のプレート製品の販売拡大に注力するとともに、その他の製品についても、売上げの拡大と収益力の改善に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は522億1千7百万円(前年同期比0.3%増)となりました。このうち海外売上高は、米国向けタッチパネルが伸長したことなどから321億7千万円(前年同期比3.8%増)となり、国内売上高は200億4千6百万円(前年同期比4.8%減)となりました。

収益面では、営業利益は10億9百万円(前年同期比38.4%減)、経常利益は13億4千2百万円(前年同期比68.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億6千4百万円(前年同期比94.2%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメント名称	前第3四半期連結累計期間 外部顧客への売上高	当第3四半期連結累計期間 外部顧客への売上高	増減率(%)
電子部品事業	19,023	20,469	7.6
電子機器事業	7,532	6,301	△16.3
生産器材事業	25,483	25,446	△0.1
合計	52,039	52,217	0.3

① 電子部品事業

蛍光表示管は、需要が低迷したことなどから売上げは前年同期を下回りましたが、蛍光表示管モジュールは、主力のPOS用途が伸び悩んだものの、米国でのEMS事業が好調であったことから、売上げは前年同期を上回りました。

有機ELディスプレイは、ウェアラブル製品向けなどの通信機器用途は需要がやや停滞しましたが、車載用途は順調に伸展し、売上げは前年同期を上回りました。

また、タッチパネルは、主な用途である車載用途が伸びたことから、売上げは前年同期を大幅に上回りました。

以上の結果、当事業の外部顧客に対する売上高は204億6千9百万円(前年同期比7.6%増)となりました。

② 電子機器事業

ホビー用ラジコン機器は、海外市場が伸び悩み、ロボット用機能部品は、主要販売先である大手パートワーク(分冊百科)販売会社向けのコマンド方式サーボの需要が一段落したことから、ともに売上げは前年同期を下回りました。

また、産業用ラジコン機器は、主力のトラッククレーン向けテレコントロール製品が軟調に推移したことなどから、売上げは前年同期を下回りました。

以上の結果、当事業の外部顧客に対する売上高は63億1百万円(前年同期比16.3%減)となりました。

③ 生産器材事業

プレスおよびモールド金型用部品、プレジジョンプレートなどにつきましては、国内では、プレート製品のラインアップ拡充やECサイトである「フタバオーダーサイト」の大幅リニューアルなどの施策を実施した結果、売上げは前年同期をやや上回りました。

海外では、主力の韓国市場において、スマートフォン向けなどが市場低迷の影響を受けて低調に推移したことなどから、売上げは前年同期を下回りました。

以上の結果、当事業の外部顧客に対する売上高は254億4千6百万円(前年同期比0.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金や建設仮勘定の減少などにより、前連結会計年度末に比べ50億7千8百万円減少し1,578億2千8百万円となりました。

負債は、賞与引当金や未払法人税等の減少などにより、前連結会計年度末に比べ2千7百万円減少し155億7千2百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定の減少や自己株式の増加などにより、前連結会計年度末に比べ50億5千1百万円減少し1,422億5千6百万円となりました。この結果、自己資本比率は83.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年11月6日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	62,667	57,883
受取手形及び売掛金	19,193	18,319
有価証券	2,797	3,413
商品及び製品	4,182	4,640
仕掛品	3,215	3,040
原材料及び貯蔵品	7,101	7,300
その他	2,097	1,452
貸倒引当金	△291	△296
流動資産合計	100,964	95,754
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,103	14,862
機械装置及び運搬具(純額)	9,663	9,545
工具、器具及び備品(純額)	844	851
土地	17,908	17,651
リース資産(純額)	82	117
建設仮勘定	2,787	1,120
有形固定資産合計	45,390	44,149
無形固定資産		
投資その他の資産	1,246	1,101
投資有価証券	11,575	12,781
その他	4,009	4,284
貸倒引当金	△278	△242
投資その他の資産合計	15,305	16,823
固定資産合計	61,942	62,074
資産合計	162,907	157,828

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,925	5,238
未払費用	2,785	3,083
未払法人税等	448	214
賞与引当金	1,130	812
その他	1,972	1,892
流動負債合計	11,262	11,242
固定負債		
繰延税金負債	2,261	2,188
役員退職慰労引当金	76	87
退職給付に係る負債	1,662	1,782
その他	338	272
固定負債合計	4,337	4,330
負債合計	15,599	15,572
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,558	22,558
資本剰余金	21,594	21,594
利益剰余金	89,470	88,453
自己株式	△3,847	△5,369
株主資本合計	129,776	127,237
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,437	2,229
為替換算調整勘定	1,715	115
退職給付に係る調整累計額	3,000	2,632
その他の包括利益累計額合計	7,153	4,977
非支配株主持分	10,376	10,040
純資産合計	147,307	142,256
負債純資産合計	162,907	157,828

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	52,039	52,217
売上原価	41,417	41,657
売上総利益	10,621	10,559
販売費及び一般管理費	8,983	9,550
営業利益	1,638	1,009
営業外収益		
受取利息	258	234
受取配当金	158	203
為替差益	2,006	—
その他	280	162
営業外収益合計	2,704	600
営業外費用		
為替差損	—	60
固定資産解体撤去費用	21	75
その他	54	131
営業外費用合計	76	267
経常利益	4,266	1,342
特別利益		
固定資産売却益	19	92
有価証券売却益	29	—
特別利益合計	49	92
特別損失		
固定資産売却損	41	34
固定資産廃棄損	27	27
投資有価証券評価損	—	23
減損損失	—	208
特別損失合計	68	293
税金等調整前四半期純利益	4,247	1,142
法人税、住民税及び事業税	668	577
法人税等調整額	140	22
法人税等合計	808	600
四半期純利益	3,438	542
非支配株主に帰属する四半期純利益	605	377
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,832	164

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	3,438	542
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,335	△125
為替換算調整勘定	7,959	△2,146
退職給付に係る調整額	△123	△356
その他の包括利益合計	9,172	△2,628
四半期包括利益	12,610	△2,086
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,717	△2,011
非支配株主に係る四半期包括利益	1,892	△74

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電子部品	電子機器	生産器材	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,023	7,532	25,483	52,039	—	52,039
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	0	—	3	△3	—
計	19,025	7,533	25,483	52,042	△3	52,039
セグメント利益又は 損失(△)	△2,002	1,671	1,970	1,638	0	1,638

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電子部品	電子機器	生産器材	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,469	6,301	25,446	52,217	—	52,217
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	3	0	3	△3	—
計	20,469	6,304	25,446	52,220	△3	52,217
セグメント利益又は 損失(△)	△1,321	995	1,334	1,009	△0	1,009

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。